

Obituary of the Late Mr. Hideo KITAMI

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Ishizawa, Susumu メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00055694

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



- and ELLIS, R.P. 1987. The position of bamboo genera and allies in a system of grass classification. *In*: SODERSTROM, T.R., HILU, K.W., CAMPBELL, C.S. and BARKWORTH, M. E. (Eds.): *Grass Systematics and Evolution*, 225-238. Smithsonian Institution Press, Washington, D.C.
- , JUDZIEWICZ, E.J. and CLARK, L.G. 1988. Distribution patterns of Neotropical bamboos. *In*: VANZOLINI, P.E. and HEYER, W.R. (Eds.): *Proceedings of a Workshop on Neotropical Distribution Patterns*, 121-157. Academia Brasileira De Ciências, Rio de Janeiro.
- 杉本順一. 1963. タケササ類と他のイネ科植物の種の変異について. 富士竹類植物園報告 8(6): 21-29.
- 鈴木貞雄. 1978. 日本タケ科植物総目録. 384pp. 学習研究社, 東京.
- SUZUKI, S. 1992. New or noteworthy plants of Japanese Bambusaceae (9). *J. Jpn. Bot.* 67: 286-290.
- 高橋成人. 1982. イネの生物学. 214pp. 大月書店, 東京.
- 高木虎雄. 1960. 日本産竹笹科綜説. 39pp. 自費出版, 京都.
- , 1969. 日本産タケ族の鱗被の組織学的研究. 富士竹類植物園報告 14: 71-81.
- 竹内淑雄. 1932. 竹の研究. 291pp. 養賢堂, 東京.
- TATEOKA, T. 1961. An anatomical study of leaves of *Pariana* (Gramineae). *J. Jpn. Bot.* 36: 11-16.
- 館岡亜緒. 1958. *Streptogyna* (イネ科) について. 植物研究雑誌 33: 364-366.
- TATEOKA, T. 1958. Somatic chromosomes of *Leptaspis* and *Streptogyna* (Poaceae). *Nature* 182: 1619-1620.
- 館岡亜緒. 1959. イネ科植物の解説. 151pp. 明文堂, 東京.
- , 1982. イネ科植物の分類. 植物地理・分類研究会第2回大会(敦賀市).
- 上田弘一郎・本田正次. 1977. タケ・ササ. 週刊朝日百科—世界の植物 91: 2131-2156.
- WATANABE, M., NISHIDA, M. and KURITA, S. 1991. On presumed hybrid origin of the genus *Sasaella* Makino (Bambusaceae). *J. Jpn. Bot.* 66: 160-165.

(received December 19, 1992; accepted March 19, 1993)

○石沢 進: 北見秀夫先生を悼む Susumu Ishizawa: Obituary of the Late Mr. Hideo KITAMI

北見先生は、平成5年3月12日にお亡くなりになりました。享年85才、明治40年佐渡郡相川町北狄に生誕、大正15年3月に加茂農林学校農科卒業された後、昭和42年3月両津高等学校を退職されるまで、主に教諭として奉職されました。

先生と親しく接したのは、佐渡弥彦国定公園拡張学術調査に同行した際であったと記憶しています。佐渡の植物は手に取るように詳しい先生に案内されて佐渡に隔離分布するクリハラン、素兵の海岸に生えるネコノシタ、赤玉杉池の落葉樹林、新潟県最大の真野町ヤブツバキの古木など拝見させて頂いたことが印象に深く残っています。

北見先生は、昭和48年から56年まで新潟県自然環境保全審議会の専門調査委員会として、また昭和45年から相川町文化財調査審議会委員、昭和47年同審議会会長に就任されるなど自然環境保全、文化財保護のために活躍、昭和57年には、文化功勞として新潟県教育委員会から表彰されました。

日本植物学会第50回大会(昭和60年)が新潟で開催され、その時の懇親会で新潟県の植物調査で功績を残された先達として会場の雑段に参列して頂きました。また、先生は昭和50年代の植物関係の学会にはほとんど出席され、県内よりも学会の会場で対面する機会が多く、会場の最前列で熱心に講演に耳を傾けておられたのも印象的でした。

先生の植物に関する最大の業績は、「佐渡の植物」の刊行であり、貴重な文献として、現在座右に置いて利用させて頂いています。

現地調査、学会会場、専門調査委員会の席上などお会いする度に、暖かく声をかけ、激励して頂いたことは忘れられません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

(〒950-21 新潟市五十嵐2の町8050 新潟大学理学部 Faculty of Science, Niigata University, Igarashi, Niigata 950-21, Japan)